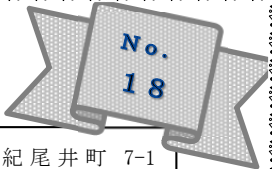


2012年(平成24年) 9月29日



ROAD

発行 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
 上智大学教育学事務室内

上智大学教育学科同窓会

TEL (03) 3238-3650 FAX (03) 3238-3980

編集責任者: 教育学科同窓会会長 栗原峰夫

上智大学教育学科同窓会会報

教育学科創設 60 周年記念シンポジウム および 2012 年度総会・懇親会を 12 月 1 日 (土) に開催

企業・国際・行政・学校で活躍する 4 人のパネラーが登場

シンポジウムは 14 時、懇親会は 17 時半スタート。詳細は本誌 2 面を!

学校

栗原峰夫 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校校長)

一九八二年卒。一九八四年大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程修了。一九八五年横浜市

立高等学校教諭として採用され、東高校、南高校、横浜商業高校に勤務。二〇〇七年より横浜市教育委員会高等学校教育課指導主事として横浜サイエンスフロンティア高校の開校準備を担当、二〇〇九年の開校後は副校長、校長代理を務め、二〇一二年より現職。教育学科同窓会会長。

国際

松浦美紀 (プロジェクト・マネジャー)

一九八七年卒。在学中より出版・マスコミに従事。卒業後も継続後、ニュージーランド、オ

ーストラリアにて有機農業修行、日本語講師。帰国後、仏・独・印・豪・米等外資企業で IT・金融・コンサルティン グ業界等で勤務。現在、IT プロジェクト・コンピュータ/英会話 講座等を請負。JAR, JEN, NICE, IELAP (NPO/NGO) 等を支援。テーマは、社会起業。

企業

柿本 浩 (日産自動車(株) アジア大洋州部主査)

二〇〇〇年卒。二〇〇二年大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程修了。同年日産自動車

(株) に入社。海外営業部門のアフリカ部に配属後、〇八年イラン部、一〇年より約二年間南アフリカのフロントオフィスに駐在し、現地のビジネスマネジメント及び商品マーケティング機能の強化に従事。現在、日産自動車(株)アジア大洋州部で、ベトナム等担当地域の市場戦略、商品企画などを担当。異文化教育ゼミのネットワーク「28 会」会長。

行政

一九八五年卒。国家公務員 I 種教育職(現・人間科学) 合格後、一九八五年四月東北大学事務局に就職。一九九〇年から一九九二年の間、文部(科学)省派遣職員としてユネスコ国際教育計画研究所(パリ)勤務。一九九三年に国立教育研究所(現・国立教育政策研究所)に研究官として赴任。一九九六年筑波大学大学院教育研究科修了。現在、同研究所にて生涯学習政策に関する調査研究に従事。

岩崎久美子 (国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部総括研究官)

二〇二一年度 講演会報告

「大人の教育」企業の新人研修とOJT制度

田中 淳子さん（一九八六年卒）グローバルナレッジネットワーク（株）

昨年十一月一九日、八号館は二〇七教室において、平成二十三年度の「教育学科同窓会総会及び講演会」が開催されました。ここでは、その講演会の概要について掲載いたします。

田中淳子さんは、教育学科卒業後、日本デジタル・イクイップメント（株）に入社。技術者に技術を教える業務につきます。経験を重ねる中で元々興味があった「ヒューマンスキル」分野の教育に目覚め、専門に。企業の人材教育の現場に二五年。二十年ほど取り組んでおられる、企業における若手育成制度「OJT支援」について、硬軟取り混ぜてお話をいただきました。

（一九八六年卒 長尾和洋）

私は、「共育」と呼んでいます。新人を現場で教育（OJT：On-the-Job Training）するのは、主に入社十年までの中堅社員とということになります。指導す

る中堅社員そのものが成長途上にあるわけで、人を育てることは自分自身もまた育つということに他なりません。人を育てる喜びを知って欲しい。そこに至れば、それは内発的動機となり、教育される側だけでなく、する側にも大きな気づきとメリットをもたらすことができます。

かつては新人教育・育成などは、全くと言ってよいほどありませんでした。「仕事なんてそのうちに覚えて何とかなる」というものでしょう。ですから、企業の人事部から仕事を依頼されたとしても、困難なことは「OJT支援」の内容ではなく、指導する側の中堅社員の意識を改革することにあったわけです。

昨今では、もちろん新人ももはや、皆さんの常識にある作法は全く身に付けていません。電話の取り次ぎさえも、彼らには未知の分野なのです。携帯電話を家族個々人が所有する現在で

は、固定電話の使用経験がない！新人も存在します。受話器は利き手と反対の手で取り、利き手ではメモを取ることで、電話を切る際には、失礼に当たらないようにフックをそっと押さえて、通話状態を終了させた後に受話器は置くこと。この作法を身に付けるだけでも二〜三時間掛かるのです。

是非私田中の記事／ブログを読んでください。「大人の学び支援隊！」で検索を！

もうひとつ、電子書籍の「コミュニケーションのびっくり箱」。こちらもよろしくお願いいたします。本日は、本当にありがとうございました。ありがとうございました。



12月1日（土）教育学科創設60周年記念シンポジウム・同窓会

於 上智大学四谷キャンパス

第1部 記念シンポジウム 14:00~17:00 12号館502教室

1. 60周年を迎えて —— 田中治彦 学科長、栗原峰夫 同窓会長ごあいさつ
2. 「教育学科の現状と展望」
3. パネルディスカッション

「グローバル人材の育成とは？」

パネラー	栗原 峰夫	1982年卒	横浜サイエンスフロンティア高校
	岩崎久美子	1985年卒	国立教育政策研究所
	松浦 美紀	1987年卒	プロジェクト・マネジャー
	柿本 浩	2000年卒	日産自動車株式会社
			司会 北村友人 教育学科准教授

◆学科同窓会総会 17:00~17:20 12号館502教室

第2部 懇親会 17:30~19:30 9号館カフェテリア

懇親会費は3,000円（現役学生は1,000円）当日受付でお支払いください。

出席希望者は同封のFAX用紙かメールでご連絡ください。ぜひみんなで集まりましょう！！

一九八七年卒 銀祝レポート

毎年五月の最終日曜日は、オールソフィアンの集いが開催されます。今年金祝を迎えられたのは一九六二年卒、銀祝は一九八七年卒、そして銅祝は一九九七年卒の皆さんでした。銀祝を迎えた小幡由佳さんと菅原奈麻美さんのレポートです。

銀祝のお知らせをいただき、卒業後二五年もたってしまったことに驚いたと同時に、今回の大切な機会に学生時代と一緒に過ごした友人に会いたいという気持ちで一杯になりました。

二五年ぶりの大学は、当時とは様変わりしていましたが、正門から裏門が見えるところ(笑)、一号館のレンガ、S Jハウス、学生用掲示板は昔のまま。一号館を抜けて学科室のあったホフマンホールまでの道を歩いていると、あの頃の気持ちが蘇るようでした。

会場でマイクを通して聞く高祖先生のハリのある美声は今も変わらず、厳しくも優しい講義を思い出しました。八三―十四クラスは二次会も含め一七名集まり、この時期だからこそという話ができ、こうして



お互いまた会えて本当に良かったと心から思いました。欠席した友人からも多数連絡があったこと等、準備委員を務めた赤松さんが力を尽くしてくれたおかげだと感謝しています。銀祝のスローガン「結、ふたたび」の言葉通りの一日になりました。(小幡由佳)

「ご案内をいただき早速懐かしい友に連絡を取りました。連絡を取りたいと思っても「相手も自分も忙しい身」と考えるとなかなか連絡を取る勇気が出ないでいたため、同窓会のありがたさを再認識。

「駅からこんなに近いなんて恵まれていたね。」「二号館って、どこ?」と新しく出来た校舎にきよろきよろしながら会場へ。当日は一人ひとりが集まりましたが、授業の合間に行った赤坂のケーキ屋の思い出や、それぞれの現在の様子など語り合い旧交を温めました。

高祖理事長のご挨拶には、人混みを掻き分けて目の前まで進み、ご挨拶後には握手をしていただき記念撮影。先生は少し髪が白くなっていらっしやいましたが、私たちが現役の時と変わらない張りのある爽やかなお声で、懐かしくまた嬉しくなっていました。

実行委員の赤松さんからは、その後写真入りの素晴らしいレポートもいただき、また宝物が一つ増えました。次回一二月一日の学科六〇周年パーティーも楽しみます。(菅原 奈麻美)

二〇一二年度学位授与式の様子

手島美智子(一九七八年卒)

今年も、例年より気温が低く、梅も桜も開花が遅れた年となりました。学位授与式の行われた三月二十六日のキャンパスでは、華やかな衣装を身に纏った学生たちがこの日一番の花を添えていました。あちこちで記念写真撮影に忙しい卒業生を見るにつけ、例年の行事が当たり前のこととして行われることの幸せを心より感じた日でした。

同窓会の代表として、林、伊藤、手島の三名が、九―三三三教室で行われた総合人間科学部教育学科の学位授与式に参列し、学部生五八名、大学院前期課程修了者六名、後期課程修了者一名、一人一人への学位記授与を見届けました。その後、同窓会よりの記念品を渡し同窓会の案内と終身会費の納入をお願いしました。

学科長である湯川教授の話にありましたが、今年の卒業生たちは、震災とその後の困難な就職活動に、くじけることなく前向きに乗り越えて来たそうです。その力強さと明るさで、この先のそれぞれの人生を切り開き、ひいては日本を明るい方向に導く存在になってほしいと、彼らをまぶしく見つめながら、心よりエールを送った次第です。

そして、卒業生の皆さんには、もし疲れたりした時には古巣に羽根を休めに来てほしいと思っています。同窓会はいつでも皆様の参加を歓迎しています。

なお、ヘルパー長だった佐々木健太郎さんには、連絡係を快くお引き受けいただいたことをご報告します。



教育学科創設六〇周年 記念シンポジウムへの

お誘い

教育学科長 田中治彦

教育学科は今年で創設六〇周年を迎えることとなりました。当初は文学部の教育学科として出発しましたが、現在は総合人間科学部の一員として教育研究活動を展開しています。現在の教育学科は、①教育の根源を問う、②国際的な視野に立つ、③研究と実践を架橋する、という3つの柱の本に教育研究活動を行っています。

六〇周年を迎えてこれからの教育学科が、社会のグローバル化が進むなかでどのような人材を養成していったらよいか、を考える記念シンポジウムを行うことといたしました。卒業生の皆様には、多数ご参加いただき教育学科の将来とともに見守っていただければ幸いです。

なお、教育学科では上智大学創立一〇〇周年と当学科六〇周年を記念して、「成績優秀で経済的に困難を抱えている教育学科の学生」を対象に一千万円の奨学基金を設置し、今年度から給

付を開始いたします。今後は基金を二千万円まで積み上げ、より多くの学生を支援したいと考えております。卒業生の皆さまの暖かいご支援をお願いする次第です。



《田中治彦先生プロフィール》
一九五三年、東京生まれ。(財)日本国際交流センター、岡山大教育学部、立教大文学部を経て、上智大学総合人間科学部教育学科教授、学科長。専門は生涯教育と開発教育。開発教育協会理事、「国連持続可能な開発のための教育の一〇年」円卓会議委員。著書は『国際協力と開発教育』（明石書店）、『若者の居場所と参加』（東洋館出版社）など多数。

上智大学教育学科同窓会 会計報告(案)

(2011年6月1日から2012年5月31日まで)

項目	収入	支出
前年度より繰越金	2,313,375	
1 終身会費	150,000	
2 同窓会参加費	84,000	
3 利息	367	
今年度収入小計(1+2+3)	234,367	
収入合計(1)	2,547,742	
1 発送料		140,280
2 ROAD印刷代		88,725
3 会場使用料		34,590
4 同窓会飲食費		77,318
5 講師へのお礼		6,050
6 会場お花代		3,150
7 資料代		1,520
8 慶弔費(卒業祝)		24,120
9 文具代		4,560
10 振込手数料		405
11 会議費		2,120
12 ネット使用料		20,150
13 カード年会費		1,312
支出合計(2)		404,300

今期の収支は、-169,933円となり、前年度の繰越金から充当しました。

収入合計(1) - 支出合計(2) = 残金 2,143,442円
上記の通り、会計報告いたします。尚、残金 2,143,442円は2012年6月以降の同窓会費に引き継ぎます。

2012年8月11日

上智大学教育学科同窓会

会計担当 伊藤 奈美予

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

2012年8月11日

会計監査 神林 達郎

高橋 秀和

同窓会会計より

終身会費の納入にご協力くださいました皆様には厚く御礼申し上げます。昨年度はより多くの同窓生の皆様からご支援を得ることができました。

なお、会費未納の方は一万円を次の口座までお願いします。

(振込ご依頼人の前に、卒年を西暦でお付けください)

ゆうちょ銀行(店番)〇一八

普通 一六二六四八二

三井住友銀行三鷹支店

普通 七一四七八四〇

「上智大学教育学科同窓会」宛

事務局より

栗原会長新体制のもと、教育学科創設六〇周年行事に協力できることが何より嬉しいのです。

大きな教室を用意していただいています。たくさん同窓生が集まって、楽しい交流ができることを願っています!

* * * * *

ROADの編集を引き継いだものの、苦手なパソコンと悪戦

苦闘の夏休みとなりました。スタッフはメールリングリスト

を使って活動しています。ぜひ仲間に加わってください。(智)

シンポジウム・同窓会のご案内

12月1日(土)教育学科60周年記念シンポジウム・懇親会出席希望者は同封のFAX用紙かメールでご連絡ください。世代を超えた同窓生の参加を、心よりお待ちしております!

教育学科同窓会ホームページ

<http://www.sophia-education-alumni.jp>